

ライフジャケットの種類(一例)

現在、市販されているライフジャケットには、主に膨張式と固型式があり、軽く、着やすく、ムレにくいなど機能性に優れ、またファッション性にとんだものも多くあり、場所や用途、体の大きさなどに応じて適正なものを使用することが大切です。

【膨張式】



浮力体として内蔵されたボンベから出る炭酸ガス等を使用します。水につかると自動的に膨張するタイプと紐を引いて手動で行うタイプの2種類があり、軽量で簡単に装着でき体への装着面が少ないため通気性、作業性に優れています。形状として、首掛け式、ベルト式、ポーチ式、ジャンパー式等があります。

実勢価格： 約8,000円～20,000円

【固型式】



浮力体に発泡プラスチック等の固形物を使用しており、シンプルな構造のものです。形状として、チョッキ式、首掛け式、ジャンパー式があります。

実勢価格： 約3,000円～8,000円

小型船舶での着用(装備)には、航行区域に応じ国の安全基準で定められたライフジャケットが必要です。